

## 漢字は効率のよい文字か？

ユズリハ サツキ

**Q** 漢字には、文章を書くとき文字数が少なくてすむという利点がある。ツイッターでは文字数が制限されているので、漢字をたくさん使うのが便利である。漢字のおかげで日本語を効率よく書くことができるのではないか。

**A** なるほど、「よみがえる」を「蘇る」、「まつりごと」を「政」と書けば、文字数がぐんと少なくてすみますので、効率的でよいと思われるかもしれません。

しかしながら、ツイッターに140字までという制限があるのは、理由があつてのことですし、おなじ140字でも日本語だと英語と比べて3倍の内容をのせられるそうですから、ツイッターの趣旨からいえば、現状で十分以上のはずです。

とはいえ、少ない文字数ですめば都合がよい、という場合もあるだろうということはわたしも否定しませんが、文字の効率ということならば文字数だけでなく、国語（日本語）教育の効率もありますし、社会生活上の効率も考えなければなりません。常用漢字の読み書きができるようになるのに何年かかりますか？ 手書きで「檸檬」と書くのと「レモン」と書くのとではどちらが多く時間を必要としますか？ 人の名前が読めなくて困ったことはありませんか？ まして、効率だけで日本語表記の問題を論じることはできません。漢字にもいくらか長所があるとしても、漢字の途方もなく大きな災いに比べれば些細なものに過ぎません。文字数の効率だけを理由に漢字を擁護するのでは、木を見て森を見ないということになるでしょう。

なお、日本語の「よみがえる」は本来「ヨミ（死者の国）から帰る」ということで、古代日本人の世界観を内に含むコトバであり、「まつりごと」は古代日本の政治がマツリを中心としていたことを伝えるコトバです。それを「蘇」、「政」といった中国生まれの漢字で表記したのでは、日本語本来の意味を歪め、含蓄を損なってしまう。わたしたちが、漢字が日本語を滅ぼすと言っている理由のひとつです。

日本語の愛護には関心がなく、文字数の効率ですべてだ、とおっしゃるのであれば、いっそのこと効率抜群の漢文でお書きになることをお勧めしたくなります。